

香港株式市場フラッシュ

市場低迷は国有企業系の高配当利回り投資の好機

リサーチ部 笹木和弘

Tel: 03-3666-6980

E-mail: kazuhiro.sasaki@phillip.co.jp

フィリップ証券株式会社

2024年1月24日号(1月24日作成)

”香港ハンセン指数は22年11月来の1万5000割れ“

香港市場を代表する株価指数である香港ハンセン指数が22日、2022年11月1日以来の1万5000ポイント割れを付けた。同ポイント割れはその前が2009年にまで遡る水準だ。中国商務省が19日発表した2023年の同国への海外直接投資(FDI)が前年比8.0%減と、2012年以来の前年比割れとなるなど、中国のビジネス環境や経済・政治に対する投資家の懸念が背景にあるとみられている。香港株市場の低迷もそのような実体経済の動向を映している面もある。

これまで中国市場に投資してきた海外投資家が日本株に資金を振り向けるほか、上海市場では日本株に連動するETF(上場投資信託)への人気も過熱している。

”国有企業系の高配当利回り銘柄の魅力が増す“

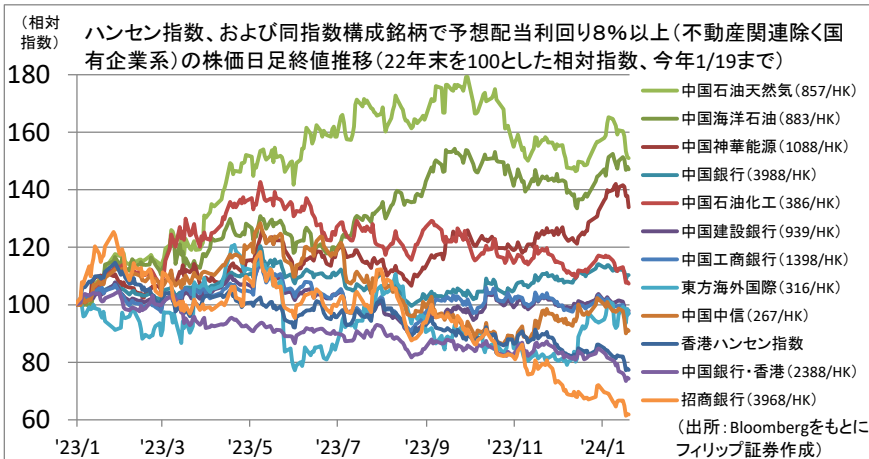
このような中で香港株市場に投資チャンスを見いだせるのだろうか？ 市場を取り巻く環境が厳しくなるほど、香港株の魅力が相対的に増す面もある。

折しも、日本株は今年から開始された新NISAの成長株投資枠で予想高配当利回り銘柄への投資が活発化した。ところが、TOPIX(東証株価指数)の構成銘柄のうち大型株と中型株の約500銘柄から構成されるTOPIX500を見ると、1/22終値で予想配当利回り5%を超える銘柄はなく、4.5%超が7銘柄にとどまる。

香港ハンセン指数構成の82銘柄を見ると22日終値でBloombergの市場予想配当利回り8%以上が20銘柄ある。その内、不動産関連業種を除く国有企業系が11銘柄に上る。①中国石油化工[シノペック](386香港)が11%台、②中国石油天然気[ペトロチャイナ](857香港)、③中国海洋石油[CNOOC](883香港)、④中国建設銀行[チャイナ・コンストラクション・バンク](939香港)、⑤中国工商銀行(1398香港)、⑥中国神華能源[チャイナ・シェンファ・エナジー](1088香港)、⑦中国中信[シディック](267香港)の6銘柄が9%台、⑧中国銀行(香港)[BOCホンコン](2388香港)、⑨中国銀行[バンク・オブ・チャイナ](3988香港)、⑩東方海外国際[オリエント・オーバースーズ](316香港)、⑪招商銀行(3968香港)の4銘柄が8%台である。

2023年度の市場予想配当性向(予想配当金の予想1株利益に対する割合)を見ると、①67%、②49%、③43%、④31%、⑤31%、⑥70%、⑦26%、⑧53%、⑨32%、⑩45%、⑪33%と、無理をして高配当を維持しているようには見受けられず、減益の際の減配リスクも限定的とみられる。株価推移ではエネルギー関連銘柄が相対的にパフォーマンスが良好。国有銀行系は4大商業銀行は底堅く推移の一方、商業銀行準大手の招商銀行は、特段の悪材料が報道されないなかで足元の株価が下落基調を辿っている。

他方、米国株を代表する株価指数であるS&P500指数を見ると、1/22終値でBloombergの市場予想配当利回り9%以上が2銘柄、6%以上が6銘柄にとどまる。配当利回り目的の投資であれば、業績の安定性や信用力で不安が限定される中国国有企業系の銘柄への投資好機といえるだろう。



ハンセン指数またはハンセンテック指数構成銘柄(全96銘柄)における終値の昨年月末来騰落率

前回基準日: 20240109 基準日: 20240123

順位	2023年末来騰落率・上位10銘柄 (%)	前回順位
1	東方海外国際 [オリエント・オーバースーズ]	7.5 12
2	網易 [ネットイース]	4.0 10
3	長江基建集団 [チョンコン・インフラストラクチャーHDS]	3.7 11
4	中国海洋石油 [CNOOC]	2.0 5
5	中国神華能源 [チャイナ・シェンファ・エナジー]	1.5 2
6	携程旅行網 [トリップドットコムグループ]	-0.8 1
7	電能実業 [パワー・アセッツHldg]	-0.9 16
8	招商銀行	-1.1 37
9	中国移动 [チャイナモバイル]	-1.5 6
10	中国联通 [チャイナ・ユニコム]	-1.8 22

順位	2023年末来騰落率・下位10銘柄 (%)	前回順位
96	蔚来汽車 [ニオ]	-34.9 94
95	小鹏汽車	-34.1 89
94	万国数視服務 [GDSホールディングス]	-33.3 96
93	龍湖集團 [ロンフォー・グループHldg]	-30.8 82
92	JD Health International Inc (京東健康)	-27.9 95
91	ZhongAn Online P&C Insurance	-25.6 45
90	阿里健康信息技術 [アリババヘルス・インフォメーション・テクノロジー]	-25.0 86
89	李寧 [リーニン]	-24.3 93
88	CG SERVICES (碧桂園服務)	-24.2 66
87	Ping An Healthcare and Techn (平安好医生)	-24.1 55

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【2024年1~2月中国主要経済指標】

- 1月12日(金)
 - 12月貿易収支: 前回+683.9億USD、結果+753.4億USD
 - 12月輸出<前年同月比>: 前回+0.5%、結果+2.3%
 - 12月輸入<前年同月比>: 前回▲0.6%、結果+0.2%
 - 12月消費者物価指数(CPI)<前年同月比>: 前回▲0.5%、結果▲0.3%
 - 12月生産者物価指数(PPI)<前年同月比>: 前回▲3.0%、結果▲2.7%
 - 12月資金調達総額: 前回2.45兆元、結果1.94兆元
 - 12月新規人民元建て融資: 前回1.09兆元、結果1.17兆元
 - 12月マネーサプライM2<前年同月比>: 前回+10.0%、結果+9.7%
- 1月17日(水):
 - 10-12月GDP<前年同月比>: 前回+4.9%、結果+5.2%
 - 年間GDP<前年比>: 2022年+3.0%、結果+5.2%
 - 12月小売売上高<前年同月比>: 前回+10.1%、結果+7.4%
 - 12月鉱工業生産<前年同月比>: 前回+6.6%、結果+6.8%
 - 1-12月固定資産投資<前年同月比>: 前回+2.9%、結果+3.0%
 - 1-12月不動産投資<前年同月比>: 前回▲9.4%、結果▲9.6%
 - 12月調査失業率: 前回5.0%、結果5.1%
 - 12月新築住宅価格<前月比>: 前回▲0.37%、結果▲0.45%
- 1月22日(月)
 - 1年ローン・プライムレート: 前回3.45%、結果3.45%
 - 5年ローン・プライムレート: 前回4.20%、結果4.20%
- 1月27日(土)
 - 1-12月工業利益: 前回▲4.4%
- 1月31日(水)
 - 1月製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回49.0
 - 1月非製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.4
- 2月1日(木)
 - 1月(財新)製造業購買担当者景気指数(PMI): 前回50.8
- 2月5日(月)
 - 1月(財新)サービス部門PMI: 前回52.9
- 2月7日(水)
 - 12月外貨準備高: 前回3.23兆USD

(出所: Bloombergをもとにフィリップ証券作成)

【レポートにおける免責・注意事項】

本レポートの発行元: フィリップ証券株式会社 〒103-0026 東京都中央区日本橋兜町4番2号

TEL: 03-3666-2101 URL: <http://www.phillip.co.jp/>

本レポートの作成者: 公益社団法人 日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト 笹木和弘

当資料は、情報提供を目的としており、金融商品に係る売買を勧誘するものではありません。フィリップ証券は、レポートを提供している証券会社との契約に基づき対価を得る場合があります。当資料に記載されている内容は投資判断の参考として筆者の見解をお伝えするもので、内容の正確性、完全性を保証するものではありません。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。また、当資料の一部または全てを利用することにより生じたいかなる損失・損害についても責任を負いません。当資料の一切の権利はフィリップ証券株式会社に帰属しており、無断で複製、転送、転載を禁じます。

<日本証券業協会自主規制規則「アナリスト・レポートの取扱い等に関する規則 平14.1.25」に基づく告知事項>

- ・本レポートの作成者であるアナリストと対象会社との間に重大な利益相反関係はありません。